

令和3年12月12日 日曜 午前10時～
於 津田公民館

津田地区連合自主防災会

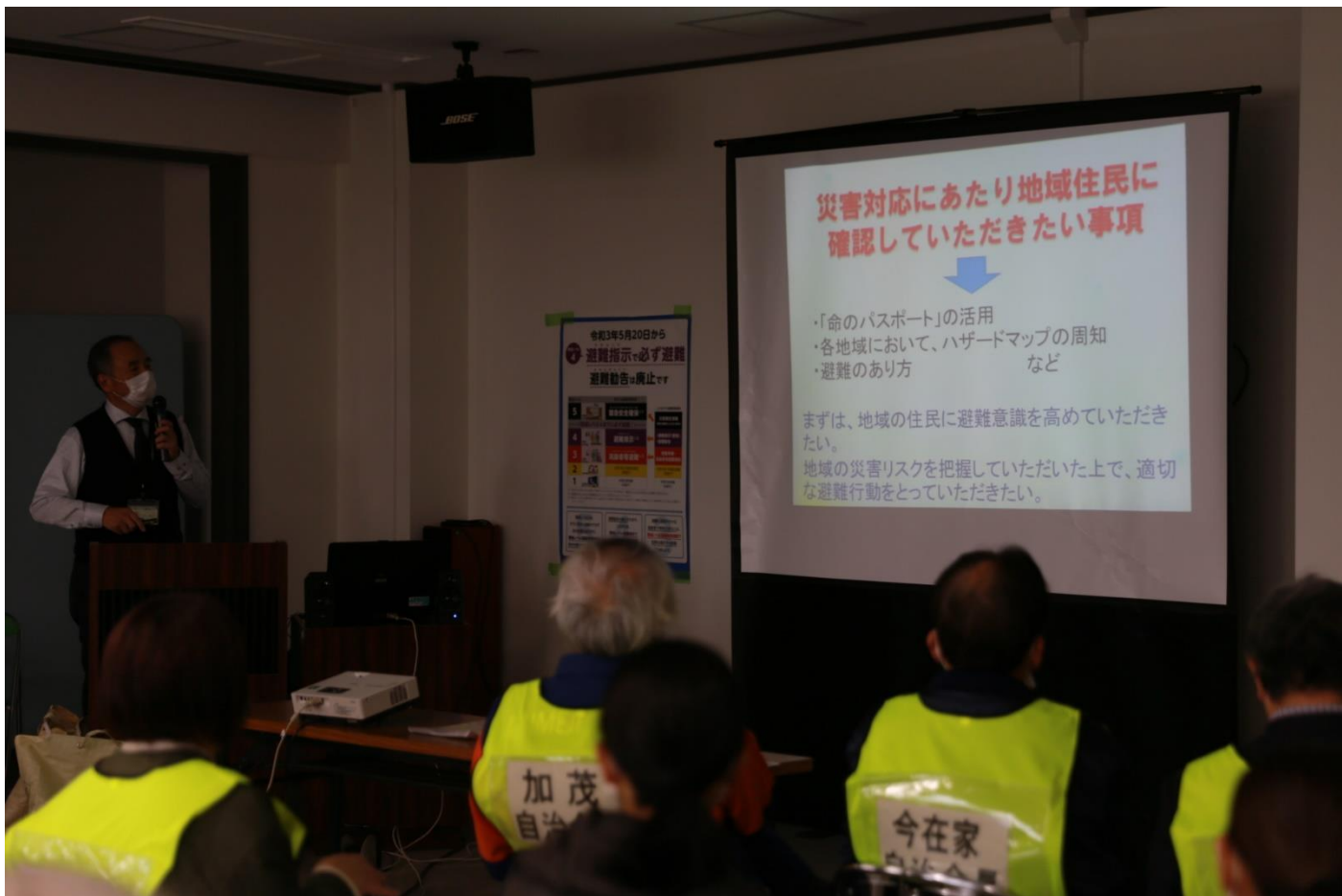
緊急事態宣言の発出等で延期を余儀なくされていた防災訓練を、縮小した形ではありましたが実施することができました。関係する各種団体の各町代表が集まり、「防災出前講座 ステップ1」を受講しました。



水田氏・重田氏の両議員が来賓として、また地域住民としてご参加くださいました。



会場の都合で少人数となりましたが、熱心に地域防災について学ぶことができました。



地域住民の命を守るために、災害対応の在り方を一つ一つ丁寧に説明していただきました。



自助・共助の備えとして危機管理室の「[命のパスポート](#)」の重要性も教えていただきました。



また、近年の災害傾向からハザードマップの見直しが行われたことや、[居住地のハザードマップ](#)を確認することの重要性についても教えていただきました。



また、小学校や公民館などの避難所に備えてある防災用品のリストや使用方法、管理状況に至るまで、姫路市の危機管理状況についての詳しい説明もしていただきました。



いつ起こるか分からない災害に、知らないところでしっかり備えられていることに驚きでした。



避難所開設がスムーズに行えるように、過去の経験を生かした必要文房具まで備えてありました。

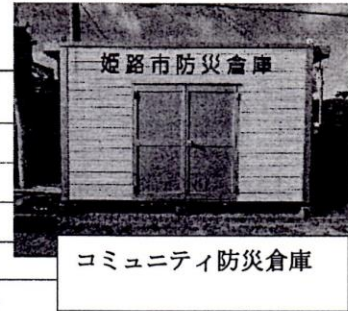


また、津田地区の過去の災害事例や構・今在家の排水が集中する思案橋クリークの現状を共有し、今後の災害対応に向けて共通理解ができました。



帰りには備蓄アルファ化米の試食が配られ、各家庭でも防災意識を高めるよい体験ができそうです。
防災訓練とはいえ、長時間の座学での研修となりましたが、参加者は皆さん真剣に学習することができました。
津田地区の防災意識の高さを感じることができた2時間でした。

コミュニティ防災資機材一覧表



資機材名	数量	
防災倉庫(コンテナ)	1基	4,000mm×2,400mm×H2,400mm 外壁アルミ 9.6㎡
物品棚	2台	
組立式リヤカー	1台	アルミ製 ノーパンクタイヤ 積載重量 150kg
可搬式発電機	2台	600VA/EX6、850VA/EF900FW
コードリール	3個	定格125AV-15A コード30m以上 コンセントU×4
ハロゲン投光器	4セット	250W、300W 三脚付
梯子(脚立)	1脚	鋼管製 二つ折り 長さ3.67m 重量8.7kg
チェーンソー	2台	排気量40cc 空冷2サイクル 重量4.2kg
油圧ジャッキ(分離式爪付)	2台	単動分離式 S-MS-300 爪荷重15t×143mm
油圧ジャッキ(補助ネジ付)	5台	標準・低型油圧式 MS-3 荷重3t
救助器具セット	2セット	箱入り(ハール・スコップ・ハンマー・ツルハシ・ジャッキ・ノコギリ・ロープ等)
三角巾	30枚	折り畳み式(大) 105cm×105cm×150cm
担架	2台	四つ折り アルミパイプ製 2,030mm×540mm 重量6.5kg
毛布	20枚	難燃性 140cm×200cm 真空包装 10枚×2箱
組立式水槽	1基	1,000リットル 直径1,350mm×H700mm
消火用バケツ	20個	10リットル ホリエチレン製
燃料携行缶	2個	10リットル 390mm×277mm×H179mm 重量1.9kg
スコップ	3本	丸型 JIS規格
土のう袋	500枚	480mm×620mm ホリエチレン製 ※吸水土のう袋含む
ポリタンク	10個	20リットル 抗菌タイプ コック付 ホリエチレン製
警戒ロープ	1巻	トラロープ 12mm×200m 強度1.44t
立入禁止用テープ	2巻	警戒テープ(1巻き50m)
防水シート	20枚	ブルーシート(中)3.6m×3.6m(10枚)(大)5.4m×3.6m(10枚)
仮設トイレ	1台	組立式トイレ、付属品一式(トイレトペーパー等)
防災資機材セット (消防団用)	1式	クリッパー2、ハール5、片口ハンマ5、のこぎり5、スコップ5、ツルハシ5、簡易担架2、 収納ケース1 ※地域の実情に応じて、消防分団車庫に配置している地区もある。
軍手	120双	10ダース
ライト(手巻き式)	2個	手巻き発電・車充電両用式(乾電池不要) LED光度60000mcd
トランジスターメガホン	1個	サイレン付き(単2電池6個)
ホワイトボード	1枚	横90cm×縦60cm 付属品(イレーザ・マーカー・磁石)



[姫路市ホームページへリンク](#)
 YouTube ひめじ動画チャンネルで災害対策等
 をご紹介しています。是非ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた 姫路市避難所運営のポイント



感染予防のために、できること。

新型コロナウイルス | COVID-19

Supervision: King's College London, Yonsei University (Korea Medical Center), National Center for Global Health and Medicine, Epi-Kaeru (Kaeru Clinic) Design/illustration: Takashi Tokuma (Bovigraphics Inc.)

新型コロナウイルス感染症がまん延するおそれがある状況において、災害が発生し避難所を開設運営する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となっています。

災害時には、断水により手指の流水洗浄ができない可能性もあることや、避難所など密集した環境下での集団生活等により、新型コロナウイルスなどの感染が拡大するリスクが高まります。

本市においても、新型コロナウイルス等の感染拡大を防止するため、十分な換気やスペースの確保等、少しでも感染リスクの軽減を実施して避難所を開設しますが、新型コロナウイルスによる感染リスクと対処方法を理解し、全員で協力して可能な限りの感染防止対策をとっていただきますようお願いいたします。

別冊の「姫路市避難所運営のポイント」と合わせて、本稿を参考に避難所運営をしていただければ幸いです。

令和2年6月 姫路市

姫路市避難所運営のポイント

～ 全員参加で少しでも良好な避難所生活を !! ～



- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1 避難者の受け入れ ……………P. 1 | 5 各班の役割 ……………P. 8 |
| 2 避難所運営組織 ……………P. 1 | 6 配慮が必要な人のニーズを聞く
……………P.17 |
| 3 避難所運営の流れ(例) ……………P. 3 | 連絡先 ……………P.19 |
| 4 避難所レイアウト ……………P. 5 | |

避難所生活では、発災時の精神的なダメージに加え、普段の生活とは異なった慣れない共同生活によるストレス、トイレや衛生、防犯対策などいろいろな問題が発生すると予想されます。

男女共同参画の視点、子どもや障害のある人、高齢者など配慮が必要な人の視点に立つことが必要です。また、生活のルールを守り、避難所運営の役割を分担し、一部の人に負担が偏らないよう、性別や年齢を問わず、様々な立場の人の力により、避難者全員が協力し、支え合っていくことで少しでも良好な生活環境を保つことが必要です。

各避難所において、この冊子を避難所運営の参考にいただければ幸いです。